

新型コロナウイルス感染症対策について

1 健康管理

- ・十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事に心がけ抵抗力を高める。
- ・感染症対策（手洗い・咳エチケット）を徹底する。
- ・三密状態（密閉・密集・密接）を徹底して避ける。

2 登校前の家庭での検温、健康観察

- ・登校前に自宅で検温する。発熱、だるさ、風邪症状（咳、のどの痛み等）がある場合は無理に登校しない。

3 マスクの着用

- ・校内においてはマスクを着用する。
- ・登下校時も電車の中などはマスクを着用する。
- ・マスクが購入できない場合は、手作りマスクを準備する。

4 登校時・登校後

- ・登校後、アルコール消毒液（生徒玄関、トイレ前に設置）で手指を消毒、又は、シャボネットの手を洗う。
- ・検温を忘れた場合は、職員室前か保健室入口で検温する。
- ・登校後に体調不良などの症状がみられる場合は、無理をせず早退する。

5 授業・教室の換気

- ・生徒間の距離を確保し、至近距離で発声しない。
- ・廊下側の高窓は常時開け、休み時間ごとに外側の窓、入り口のドア、廊下の窓を1～2分間開けて換気する。

6 昼食、休み時間 ※分散登校中は、学校で食事を取ることは避けてください。

- ・食事前に必ず手洗いし、向き合って食事をしない。
- ・食事中は会話を控える。
- ・三密状態を避け、大声を出さない。

7 清掃時の消毒 ※分散登校中は、教職員で対応します。

- ・教室清掃は、各教室に配布してある次亜塩素酸水スプレーで、引戸の取手やスイッチを消毒する。
- ・トイレ清掃は、ドアノブ、蛇口、洗浄レバー、ふたを次亜塩素酸水スプレーで消毒する。男女トイレに次亜塩素酸水スプレーは1つのため共用する。

8 保健室の利用

- ・登校後に発熱や風邪症状が出てきた生徒は、保健室入口で検温し、別室で待機し保護者に迎えに来てもらう。
- ・保健室の利用は、ケガや腹痛など原因の明らかなものとする。

9 部活動 ※分散登校中は、部活動は中止です。

- ・活動場所ではできるだけ頻繁に換気する。
- ・部室等の利用では、三密状態にならないよう注意する。
- ・器具、道具、楽器などは消毒する。